

2011年度活動テーマ
発酵食品で放射能に打ち克つ健康づくり。人々の協同で被災地復興と大地再生。
発酵と復興

常総生活協同組合
発行/副理事長 大石
tel:050-5511-3926

COOP-JOSO News Letter

【ものづくり、人づくり、地域づくり】 震災・原発事故汚染から半年

「信頼できる情報を得たことで、夫婦で心合わせて、おちついて考え、行動する基盤を得られました。長丁場になります…」

10/2 被ばく予防セミナー(つくば)

放射線被ばくから子どもたちを守るために

小児科医、未来の福島子ども基金代表、チェルノブイリ子ども基金顧問



黒部先生講演会



●「東海第2原発廃炉を求める署名」第二次～10/15までに2,179筆
一次提出分とあわせて **10/15現在 5,120筆に!**

生産者・メーカーさんからも520筆を頂いております。
「東海第2原発廃炉署名」の第二次〆切は10月いっぱい!

●10/30(日) 13:30～16:30 小川仙月さんによる脱原発講演会 ポリテクセンター茨城
「チェルノブイリとフクシマ、放射能被害～東海第2を廃炉にする」

(同時開催) 常総生協「脱原発暮らし見直し委員会」12:00～13:00 同会場

●11/5(土) 生協まつり「発酵と復興! みんなの協同の力で元気に」会場生協本部

11月5日(土)は、家族で、知人友人誘って 「秋の生協まつり」へ

2011年秋 常総生活協同組合

森と里、復興の浜から!
発酵と復興!
みんなの力で元気に!



常総生協 秋の生協まつり

とき 11月5日(土) 10:00～14:00

(雨天決行)

ところ 常総生協 本部1階(地図参照)



当日、土壌の放射能検査ができます。
・計いた土壌を1kg分をビニールに入れてご持参ください。放射能測定機に入ります(食品検査機とは異なります)。
・当日の到着順に「整理券」をお渡しします。
・時間と人数の都合上、1家庭1枚まで。また、10分間の緊急測定(検出限界 30Bq程度)となります。※緊急測定の都合上、検査結果は当日のお知らせとなる場合があります。
常総生活協同組合 電話 050-5511-3926

発酵と復興! みんなの力で元気に!

2011 常総生協 秋の生協まつり

発酵で元気に!

沼原本店(茨城県石岡市)
... 朝日、醤油を絞ります! 挽肉にての湯豆腐を頂く!
発酵と醸造の片山 & 大木代官本店(神奈川県川崎市、福島県いわき市)
... 大好評の「甘酒」、「大木」洋島の地酒を堪能!
水府納豆(茨城県ひたち田市)
... 老舗水戸の納豆! パッケージイラスト発表!
鈴木牧場(茨城県石岡市)
... 「良質な牛乳は草作り、土作りから。地産地消家の手作りヨーグルトとチーズ。」

森から!

なかのきのご園(茨城県つくば市)
... つくばの森からのおくりもの! 原木しいたけ、チャイルドワッス(茨城県つくば市)
... 味わい深い、地元のしめじ。
本橋橋店(茨城県つくば市)
... 味噌、漬物に大活躍! 茨城の木で作る、本橋さんの橋。

里から!

清水農園(茨城県取手市)
... 自然が一番! 有機農家の生産物。
やさとの仲間(茨城県石岡市)
... 有機農家の仲間から、心をこめて! 秋の野菜。常総市東町特産米耕作組合(茨城県常総市)
... 秋の収穫祭! 常総産「あまのこ」コシヒカリの盛り合わせ大会!
JAやさと(茨城県石岡市)
... やさと特産! 地産しめじ。
宇治田農場(茨城県石岡市)
... 常総産「あまのこ」自給飼料で育てた鶏のたまご。

復興の浜から!

丸小漁協(茨城県日立市久慈港)
... 久慈港の海の幸盛りだくさん!
塩屋(茨城県ひたち田市)
... 漁師のよまじしみる活あさりの盛り合わせ。
コタニ(岩手県大船渡市)
... 復興のための漁業!
西の浜からエール!
鳴門魚類(徳島県鳴門市)
... 「みたらしホタテ」を召し上げ!

その他にも...

・せいせう食品販売コーナー
・豚の丸焼きコーナー
・脱原発! 地域放射能汚染マップ展示コーナー
・生協相談コーナー などなど。
～ぜひ皆さんでお越し下さい!～

出展時間は10:00～14:00までです。※出展者は急遽変更になる場合があります。限定品もありますので、おさざい合わせの上、お早めにご来場下さい。

【脱原発暮らし見直し委員会主催】講演会(第1回)

いち早くチェルノブイリに入り、その実状を日本に紹介した

小川仙月さん 講演会

「チェルノブイリ・フクシマ～放射能被害、東海第2を廃炉にする」

【日時】 10月30日(日) 午後1:30～4:30

【会場】ポリテクセンター茨城 (常総市水海道高野町目下591 国道294号 常総警察署隣 tel:0297-22-8800)

(交通手段のない場合は、生協本部より1時発の乗り合わせありますのでご連絡下さい)



小川さん講演会前に

常総生協「脱原発暮らし見直し委員会」(第3回)を開催します。10/30(日) 昼12時～午後1時

ホリテクセンター茨城

委員に登録されていない方も自由参加歓迎!

(交通手段のない場合は、生協本部より11:30発で乗り合わせあり)

毎月1日を定例会としていましたが、第3回委員会は小川さんの講演会前に同会場で開催させていただきます。

- (議題) 1. 黒部先生講演会放射能被ばく予防Q&Aチラシ案の確認
2. おすすめ書籍、放射能被ばく予防の広報について
3. 東海第二原発再稼働させない活動のすすめ方について



【10/2 放射能 被ばく予防セミナー 黒部信一先生講演会】

黒部先生講演会に参加して

10/2(日)、つくばサイエンスインフォメーションセンターで、小児科医の黒部信一先生をお迎えして、放射能被ばく予防セミナーが開催されました。

組合員からの事前質問事項と当日の質問への先生の回答、注意点などは、現在「脱原発くらし見直し委員会」の特別チームがまとめてくれていますので、追って広くお知らせする予定です。

今週は、参加者の感想のいくつかを紹介します

○夫婦で心合わせて、落ち着いて考えて

セミナーには主人が参加しました。今まで、私一人、子どものことを考えるとむやみに不安になったり、夫婦で意識(不安感)や情報の格差があって、それもストレスになることがありました。

今回、まとまって信頼できる情報を得たことで、夫婦で心合わせて、おちついて考え、行動する基盤を得られました。これからも長丁場になりますが、安心、安全の寄りどころとして頼りにしていますので、何卒よろしくお願いします。

情報と、それから、皆がどんな行動をしていくのかの示唆の面でとても頼りになります。もちろん、食べ物についても細かく検査して下さりありがとうございます。

(土浦市 浅川)



○アドバイスに沿って生活することが

40年間、小児科医として現場にたずさわってこれた、黒部先生のお話、お言葉に重みがあり、説得力のある講演でした。

先生のお話を聞き、「このつくばに住み続けて良いのだろうか?」という気持ちになりました。自分の中に、福島原発から100km以上離れているから大丈夫という希望を込めた根拠のない安心感がどこかにありました。



先生が「居てもいいものじゃない」とおっしゃった言葉で、移住を考えるきっかけになりました。とはいっても、主人の仕事や子どもの学校など、すぐに実行にうつせない現状があります。明るく、ストレスをためこまず、年に何度か保養に出る、食べものは、散らして食べるetc先生のアドバイスに沿って生活することが、現実的なのかも知れません。

今回で、常総生協さん主催の講演会に参加させていただいたのは、2回目です。このような機会をもうけ、現状を知り考える場を与えて下さり、本当に感謝しております。これからもよろしくお祈りします。ありがとうございました。

(つくば市 半澤)

○知るということがいかに大切か

とてもいい話でした。放射線被曝についての話はわかりやすく説明していただき、チェルノブイリの話は知らない事ばかりで知るとい事がいかに大切か改めて感じました。とてもお忙しいなか未来の子供のために一所懸命頑張って下さる黒部先生に感謝いたします。本も読ませていただきました。福島原発も見学に行った事もあるし、小学6年生の時オイルショックも経験したのに、なぜ疑問に思わなかったのか知ろうとしなかったのか残念(自分自身が)。本はたくさんの人に読んでもらいたかったので友達に貸しました。一人一人の力は小さいけれど一人一人の意識が変われば奇跡が起こるかもしれない。

(つくば市 小池)

○最後は自分で判断する、その良い材料に

数値的にはシビアな現実を突きつけられた感じでした(「管理区域」に今住んでいるということ)。

病気になるメカニズムを知ることができて、安心しました。自分で最後は判断する、その良い材料がいただけたことを思います。ありがとうございました。

(柏市 石川)

○食品に気をつけつつも、子どもは伸び伸び

黒部先生、長時間の講演お疲れさまでした。子供の鼻血が気になっていましたが、放射線の影響ではないということがわかりとても安心しました。

小児科のお医者様としての経験に基づく貴重な話を聞く事ができ、とてもためになりました。今後も引き続き食品には気をつけつつも、子供はのびのび育てたいように接したいと思いました。(守谷市 遠藤)

○仲間がいるのだ、と心強く

このような講演会を開いてくださったことに感謝します。黒部先生の話に一生懸命耳を傾けるお母さん達の姿を見て心配しているのは自分だけではない、仲間がいるのだと心強く思いました。(牛久市 戸塚)

○将来子供たちに異常がでなければいいのですが

テキストが用意されていてわかりやすかったです。家に帰ってからも読み返すことができ参考になりました。

黒部先生は小児科医ということで穏やかな話しぶりで落ち着いて話がきけました。子供たちを放射能から守るには汚染された地から逃げるのがベストだということそれしか本当の道はないように思いました。

原発に近い福島の居住地の方には、ほぼ明確に避難するように指示されましたが、私たちが住んでる茨城の地はどの程度の汚染状況なのか住民にはつきりと示されていません。危ないかとも思いますが現実がわからず不安が増していつている感じです。

子育て中の母親たちが実は心の中では危ないとわかっているのだけれどもでも安心をもらいたくて黒部先生にいろいろと伺っているようにも見えました。5年後、10年後子供たちに異常がでなければいいのですが…。(取手市 山本)

○厳しい現実も直視させられた

専門の方からお話を聞く機会は初めての体験でした。とても勉強になりました。正直、気が楽になったような気もしますが(子供にストレスをあたえない!というお話しの部分)、厳しい現実を直視させられたような、複雑なところでした。

内部被曝が8割とのこと。ますます常総生協さんが必要だなと感じました。折角調べて頂い



た食品のデータは調べた直後だけでなく常に表示して頂けると助かります(検査済、不検出等)。今心配なのは魚です。何を食べて良いのか本当に迷います…。味噌汁の出汁に使う煮干も千葉県産のものは正直怖くて買えません。以前買いだめておいたものも底をつき始め…。(土浦市 鈴木)

○気を付けること、心の持ちようも

本日は有意義なお話をお聞きすることが出来、大変勉強になると共に、3児の母親として少し安心する思いが致しました。

テレビ等、メディアでは国民のパニックを恐れてか、情報規制があるようで、“安全”としか耳にしません。勿論、あおるような情報もこまりますが。ホットスポットといわれる我孫子市で残って生活していくことを選んだ以上、親として正しい知識を得て、放射線と共存していく為にやるべきことを知ることができたので、ただ避難!!だけでなく気を付けること、心の持ちよう等がお話にあったのにとっても有難く嬉しかったです。

このような機会を設けて頂いた常総生協さんにお礼を申し上げます。ありがとうございました。

(我孫子市 上田)

○知らないことのこわさ

今回は息子(小4)と一緒に(「僕も勉強して自分で気をつける!」)と参加させて頂きました。黒部先生のこれまでの活動にまずおどろきました。子供たちのレントゲン検査やインフルエンザワクチンの反対運動をして頂いたことに感謝します。初めて聞くことも多く、私は知らないことすら知らなかった事がとてもこわい事だと思いました。

チェルノブイリと日本の大きな違い(チェルノブイリでは緊急対策委員会に市民が参加していたこと)、ふぐのくだり(毒を生成しているのではなく、海の毒を濃縮していること)も、知らなかったのでもって勉強になりました。貴重なお話をありがとうございました。またこういう機会があれば是非参加したいです。

(阿見町 泉)